

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
日清食品株式会社	代表取締役社長	安藤 徳隆	大阪府	製造業	https://www.nissin.com/jp/

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A	① 物流の改善提案と協力	・倉庫WMSの適宜改修を行い、荷役における生産性向上や効率化、作業負荷低減に繋げてまいります。 ・パートナーである物流業者様から待機時間、附帯作業などの改善要請があった場合は真摯に協議に応じ、弊社としても相互に改善できるよう努めます。将来的な人員不足や車両確保への対応として、要請があれば適宜物流拠点配置見直しなどを実施します。
2	A	② トラック予約受付システムの導入	自社工場の一部において既に導入しており、併せて予約順に応じ車両単位でピッキング、保管を可能とするシステムと設備を導入しました。今後未導入の生産拠点への展開も適宜検討し、車両待機時間の短縮やドライバー拘束時間抑制となるよう実施してまいります。
3	A	③ パレット等の活用	幹線物流において、既にパレット輸送を実施しております。積込/荷降ろし時間の短縮、また荷役作業負荷低減の効果もあるため、今後は配送においても得意先様にご理解を頂き、ドライバー拘束時間抑制への対策として積極的に拡大することを検討致します。
4	A	⑨ 荷主側の施設面の改善	幹線輸送において、車両ごとの積荷を事前に荷揃えし、車単位で保管可能な専用ラック設備を一部の工場出荷口に導入済みです。今後さらなる人員不足に対応するため、省人化につながる設備を積極的に導入してまいります。
5	A	⑩ リードタイムの延長	・得意先様までの配送において、既に「翌々日」配送を通年化することでリードタイムを延長しております。今後も得意先様と効率化を目指し、様々な課題について協議、検討を行い、実施してまいります。
6			

PR欄	配送業者様の負担軽減を目的に、弊社では18年1月より「翌々日」配送を通年採用と致しました。今後も物流パートナー各社様、関係省庁と連携し、加工食品業界における商慣行の見直しや、各種物流課題に取り組んでまいります。
-----	---